

じんけん

JINKEN
第146号
(通巻 273号)
2022年7月22日発行

INDEX

特集1

シリーズ2022

夜明け前の道を進む ～その2～ 8

特集2

INFORMATION

第16回ヒューライツ作品展の募集について 12

第35回通常総会の開催 2

2021年度色覚検査実施調査から見る課題 3

おすすめの本 5

第1回オープン講座 6
「なかまをつくる部落に生まれて」 森山資典さん

寺澤 亮一さんを偲んで 7

こどものまなざし 10

「様々なカタチのオリンピック選手」
豊後大野市 西山未来さん



 公益社団法人
大分県人権・部落差別解消教育研究協議会

大分県大分市大字下郡496-38 大分県教育会館内
TEL: 097-556-1012 FAX: 097-556-0864

URL <http://kjkcoita.jp>
E-mail hello@kjkcoita.jp



大分県人教の
ホームページは
こちら

印刷 小野高速印刷(株)

第35回通常総会の開催

九州各県では、今年度総会より100人以上を集める現地開催とする県も多い中、大分県人教は感染症対応ガイドラインに則り、Zoomによるオンラインでの開催としました。日田市人研の樋口友美さんと県南地区高人研の利光継男さんに議長をお願いし、昨年度事業も今年度事業の協議を進めました。例年、会費がどのように使われているか分かりづらいという意見もあるので、会費についての説明の時間を少し多めにとりました。

総会後には、参加者全員で人権研修は誰のために行うものかという研修を持ち、一人ひとりが進み続ける大切さを共有しました。

▶ 2022年度(公社)大分県人権・部落差別解消教育研究協議会 理事・幹事一覧 ◀

会 長	後藤 哲郎	大分県小・中学校長会	理 事	和田 俊二	大分県高等学校PTA連合会
副会長	佐藤 秀信	大分県立学校長協会		清松 督雄	大分県国公立幼稚園・こども園PTA連合会
副会長	下田 博	大分県市町村教育長協議会		池田 貴士	大分県保育連合会
理 事	佐藤 善信	大分県市長会・大分県町村会		吉田百合子	大分県児童養護施設協議会
	安藤 秀樹	大分県商工会連合会		児玉 洋司	大分県私立中学高等学校校長会
	宮崎 哲哉	大分県商工会議所連合会		近藤 直美	大分県内小中学校教員
	麻生 慎一	大分県農業協同組合中央会	監 事	宮瀬 雅士	大分県立学校長協会
	山田 弘樹	大分県PTA連合会		甲斐 邦裕	九州労働金庫大分県本部

大分県人教 会長あいさつ

後 藤 哲 郎

上記通常総会において、昨年度に続き会長に選任された後藤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。皆様方におかれましては常日頃から、人権教育並びに部落問題の解消に関心を持たれ、当研究協議会の取組にご理解とご協力をいただき厚く感謝申し上げます。

さて、ご承知の通り今年度は全国水平社が結成され100年を迎えます。これを機に、私は久しぶりに小説『破戒』を読みました。父親から戒められたことをひたすら隠し続ける丑松の苦悩や、様々な理不尽さに対する怒りや恐れ、自分の出自をカミングアウトし強く生きるなかまに心を寄せながら日常を過ごす心苦しさなど、内面の葛藤に改めてハラハラしました。

現代においても部落差別をはじめ性的マイノリティや新型コロナウイルス感染症拡大による医療従事者や感染者等、さまざまな差別に苦しんでいる現実があります。丑松の苦悩は小説だけのものではなく、時を超え現代に生き続けているものであることを私たちは胸に刻まないとはいけません。

丑松には身分といった壁を乗り越えてむすびついているなかまがいます。私たちも「差別の現実から深く学ぶ」ことを原点とし「人権という普遍的文化」の構築をめざすなかまとともに、10月に実施するヒューライツフォーラム2022杵築大会をはじめとするさまざまな事業を通し、学校教育と社会教育をつなげ「人権のまちづくり」をめざした取組を進めてまいります。

2021年度色覚検査実施調査から見る課題

県人教では、2016年度から毎年色覚検査実施調査をしています。調査目的は「色覚検査の実施状況並びに色覚検査の事後指導等の実態を把握して、人権教育の課題を明らかにし、その教育課題克服のための資料とする。」ということです。文部科学省通知（H26年4月、第96号）「学校保健安全法施行規則の一部改正等について（通知）」により色覚検査が復活し、その検査前後でどのような教育実践がなされ、教職員、生徒、保護者、地域等どのような課題があるのかに注目して分析を行いました。

調査結果についての考察

質問「色覚検査実施について学校から保護者への周知は？」については、義務制では「保健だよりで通知」が48.7%（前年43.6%）と最も多く、高校では「学校長名で通知」が31.5%（前年33.8%）と最も多くなっています。「何もしていない」が義務制で29.2%（前年34%）、高校（特支含む、以下同）は32.9%（前年37%）です。大分県教委からは、文科省通知を受けて「学校現場の希望生徒に対して、色覚検査を受けることができることなど、より積極的に保護者等への周知を図る」ように依頼しています。

検査実施の周知で「色の見え方に困りや不安はありませんか？」という呼びかけを多く見かけますが、この段階で、「劣った」という認識を与えてしまいかねません。少数色覚の遺伝形式は多くの当事者家族で理解が進んでいます。ですから、こうした呼びかけで、「自覚する当事者」が希望することはほとんどないというのが実情です。その反面、「正常」という結果に喜ぶ子どもや保護者が増えることは、多数色覚と少数色覚の分断を進めることになっていることも理解する必要があります。

質問「色覚検査の実際？」については、高校では受検者1,413人と多く、「教職員のみで実施」が6.8%（前年7.7%）でした。「希望募ったが無かったので実施せず」が義務制で35.9%（前年32.6%）、高校は13.7%（前年15.4%）でした。また、「疑いある子は眼科医を勧めた」は、高校では31.5%（前年は21.5%）と増えています。その他記述を見ると義務制の場合「相談を受け付けるが、検査は学校ではない。」「受診の場合は眼科へつなぐ」が多く見られました。

課題は検査結果を少数色覚生徒のための支援にどのように活かしているかです。学校で行う（案内をすることも同じ）色覚検査であれば、学校教育に資するものでなければなりません。子どもたちの特質を把握し必要なサポートをすることは学校で大切なことです。

質問「検査して良かったこと」では、義務制で4.1%（前年1.4%）、高校で20.5%（前年21.5%）が「良かった」と答えています。全体的には「不安軽減・解消した」「色の困りがわかり、支援につながった」、高校では「進路選択の参考になった」が多くありました。しかし、「特性を理解した上で進路選択できた」という場合、検査結果が本人の希望進路を断念させる方向であれば、差別選別・偏見容認に通じないか検討すべきです。航空関係、船舶関係の色覚検査では、石原式検査表で不適合の疑いが出た場合、強度以上の色覚異常を抜き出すパネルD15で再検査するようになっています。しかし、海技機関士の運転免許では、不合格でも、夜間のブイの色などを識別する検査（灯色識別検査）で合格すれば、それも要件クリアとなります。さらに、灯色識別検査で不合格でも、色を塗った三角形板での検査（塗色識別検査）に合格すれば、小型船舶の昼間限定の免許を得ることができます。石原式検査では、こうした判定は不可能です。これを理解した上で、少数色覚者の就労保障について考えてみる必要があります。

質問「『少数色覚の疑いのある』生徒への学校側の事後指導は？」については「何もしていない」が義務制で3.5%（前年3.1%）、高校で9.6%（前年7.7%）。「生徒や保護者にアドバイス」は義務制で3.2%（前年1.7%）、高校で20.6%（前年15.4%）となっています。また、事後指導の内容については義務制では「学習面や生活面について」が合わせて4.7%（前年2.5%）、高校では12.3%（前年26.1%）でした。高校の場合「進路・職業選択に関して」が9.6%（前年12.3%）、「少数色覚について説明」が15.1%（前年12.3%）でした。依然として「少数色覚の疑いのある生徒に、適切なアドバイスできる体制」にはほど遠い感じがします。認識を深める研修だけでなく、実践レポート研修、拡大ケース会議や模擬カウンセリング研修等の工夫も必要です。

質問「色覚の違いを正しく理解する研修は？」については、「何らかの研修をした」は義務制で48.5%（前年31.5%）、高で21.9%（前年20.0%）です。義務制では色覚研修が17%増えています。「『検査の前に読む本』を校長が読み、職員会議で色覚検査の案内配布を周知した。また、このアンケートをもとに各自に色覚に関して聞き取りをする中での疑問等に養護教諭が答えられるところは答えていった。」や「今後色覚検査を行う可能性がある児童がおり、学校全体で校内研修を行い、全職員で共通理解する場を持つ予定」等、少数色覚の生徒がいる場合を想定しての研修も行われています。

少数色覚者は日本人男性の約20人に一人、女性の約500人に一人の割合でいます。どの学校・学級にも少数色覚の児童生徒がいるという前提で研修を進めるべきで、今後は必要なサポートや検査の事後指導ができる研修が必要です。

質問「色覚検査や色覚問題についての見解」（新設質問）

色覚検査への意見では「色覚検査は必要に応じて行うべき」が義務制33.5%、高校42.5%あり、これは「スクリーニングとしての石原式色覚検査で『危険人物を抜き出す』」というかつての「色盲検査」の考え方ともつながりかねません。より正確な色覚検査とその後の支援確立、色覚に形や模様を加えた安全確保が求められます。「色覚に個人差があり、色の見え方を個性と捉えるべき」「子どもの困りに対する支援が大事」等の意見もありました。色覚問題が人権学習のテーマとなると捉えており、色覚関係教材の充実、提供が課題となります。

質問「学校内外の色覚問題について授業や研修で工夫していること、（自由記述）」（新設質問）より

- ・見えにくい色のチョーク（赤、緑）は使わない。
- ・白杵杵市部落差別解消推進・人権教育研究会事務局が各学校に配布した絵本「エリックの赤・緑」（「おすすめ本」として今ニュースで紹介）の紹介が書かれた会報「同研うすき」をもとに研修時に確認した。絵本は子どもがすぐに手に入れる場所に置き、必要に応じて学級での読み聞かせに活用してもらう。
- ・進路面で本人の意志を尊重し、企業と連絡取り、採用不利にならないようお願いしている。

「板書の際にチョークは白、黄色を中心に使う」ことが多くの学校でされるようになりました。色だけでなく、形や模様、下線、囲みなどで判別する工夫もあります。色にたよらないユニバーサルデザインが取り入れられています。そこを意識しながら、色覚問題に関する人権学習の実践交流をしていきましょう。



色覚検査実施調査結果の考察からめざす方向性

就労保障の観点からも、色覚検査の実態がわかります。県内高校生の就職試験の健康診断状況（県教委調査）は下表の通りです。色覚検査の実施が多数を占めており、とりわけ電気・化学関連企業で目立ちます。

20年色覚検査実施企業45件の業種内訳	電気関連26件 化学関連5件 鉄道11件 その他3件
21年色覚検査実施企業31件の業種内訳	電気関連13件 化学関連14件 鉄道3件 その他1件

これら検査については、求人票に実施が記載されており、違反にはあたりません。安全確保等の理由で安易に色覚検査をして、作業が的確にできる少数色覚者までも排除することのないようにし、「作業に適合した判別ができればよし」とすべきではないでしょうか。

今年度も、10月下旬の全国人権教育研究協議会の文部科学省、厚生労働省要請行動に大分県人教からも参加し、色覚学習カラーメイトの資料を添えて次の趣旨で要請しました。

- ・職業制限の有無が地域によってある（実例：大分では14消防局の内、8本部が未実施）。やむなく色覚検査をするのであれば、具体的な検査方法と判定、合否基準をだれもがわかるように明示してほしい
- ・学校における色覚検査ではなく、直接専門医による診断につなげる対応を要請します。
- ・色覚に関する学習資料の作成と現場への配付に関して検討をお願いします。

わたしたちは医療分野とも連携して、進路保障という観点で、色覚問題を考えていき、不安や悩みを持っている子どもや保護者のよき理解者でありたいと考えます。そして、色覚問題についての認識を高め、教育内容の創造をしていきましょう。

おすすめの本



『エリックの赤・緑』

明るく元気な赤毛のエリック。ある日、エリックが描いている「自分の絵」を見て、みんなびっくり！でもアナベルはにっこりほほえみました。「あなた、カラーブラインドね。心配しないで。」

お医者さんに診てもらったエリックは、両親、学校の先生たち、クラスメイトは、彼といっしょにうまく過ごしていくための方法を見つけ出していきます。対象年齢は、6～12歳。巻末に保護者などおとな向けの説明「色と色の感じ方のちがいは」とを収録しています。

2,500円＋税10％で定価2,750円

発行所 しきかく学習カラーメイト

発行元 学術研究出版

お詫び

各地区研究会や学校現場が購入した県人教発行『子どもたちに確かな未来を 大分の進路保障・人権教育実践資料修2022』の38ページから「2021年度色覚検査実施調査から見る課題」について今回の分析をより詳しく掲載しています。しかしながら、40～41ページと42～43ページの内容が入れ替わっています。大変申し訳ありませんでした。

第1回オープン講座

なかまをつくる部落に生まれて

森山資典さん

【講演の一部を紹介します】

※全文は「子どもたちに確かな未来を 2023」に掲載します。

・・・・少年森山は、そんな父のことが実は誇らしかったんですよね。父が実は早く死にますが、死んだあと近所のおじちゃんたちから「何でも助けられたばい」って、その解放運動に携わっていく中で聞くんです。当時学校で部落問題学習がなかった時に、どうして差別されるのか誰も父に教えてくれません。父が家に帰って、「なんで俺たちは指を立てられるのか、賤称語を言われるのか、母ちゃん教えてくれ。我慢しきらんけ、今日も喧嘩してきた」って言うと、「お前は、もう手出すとでけん。あんね、しょんなかったい。」しょんなかとは、仕方ないということです。「しょんなかったい、腑の悪かったい」「運悪くここに生まれたと思って諦めれ。先祖が悪かけんたい」としか言えないんですよ。さっきの水平社宣言の中にある「私たちは決して先祖を辱めてはいけない」というあのくだりは、そういった学習をしなかったから、自分の先祖を悪者扱いにしか出来なかったことを反省した言葉です。そう僕は思っています。差別への抗い方を知らず、暴力でしか立ち向かえなかった私の父、そんな父だったんですが、実は30歳を過ぎてからは決して暴力を振るうことはしませんでした。握りしめた拳を人に向けることはありませんでした。なぜなら、部落解放運動が父に届いたからです。学校の同和教育が届き始めたからです。私が生まれたからです。暴力で暴力は決して止められません。誤解を恐れずに言いますが、戦争で戦争は終わらないでしょう。今、人の命が簡単に取られていますよ。強い武器をやればもっと強い武器が来ますよね。最終的には核兵器ですよ。けっして、そのような暴力で暴力をなくすことでは差別はなくなるらない、それを初めて解放運動の中で父は知ります。「人は尊敬するものだ、互いがつながりあって生きていくもんだ」という水平社宣言が、腑に落ちるんです。自分の腑に。自分の心に落ちていく、そして俺たちが今まで握りしめて立ち向かってきた拳は、己に向かって持つもんだ。差別をする人こそなかまにして、差別をなくす人になってもらうことが差別をなくしていくことなんだというシンプルで当たり前のことを、解放運動の中で父は学びます。そんなことで父は自分の生き方を取り戻していったということを後々母から、あるいは近所の人たちから聞きます。それを作文に書いて持って行くと、岩野先生はにこっと笑いながら、「森山、お前本当は父ちゃんのこと好きなんやろ」って言います。「先生、よう読んで。一言も俺好きって書いとらん」岩野先生は「なむっなよ、俺は国語の先生ぞ。お前ね、文章の中に溢れ出る愛がある。作文ってそういうもんばい。言葉には書いとらんでも、お前が書いて来た作文の中にはお父さんや自分の部落のことが好きだという思いがいっぱいこもってるたい。これが本当のことやなかとや。・・・・」



【参加者の感想】

※たくさんの感想をいただきましたが、その一部を紹介します。

10年位前だったと思います。部落についての話を父にしていた時のことです。自分の住んでいる地域はどうか、差別はないのか聞いたとき、父は「ここにはそんなんはないことになってるんや」と、急に激しい口調で言っただけで話が途切れたことがありました。それから今日までその話は止まったままです。講演を聞きながら急にそのことがよみがえってきました。あの時の父の思いは何だったのか、今まで触れずにきた自分の思いは何なのか。今まで封印したように忘れていましたが、いつか話の続きをしたい・しなければと思えた講演でした。

今後、差別と向き合うことになったとき、自分ならばどのように行動するかと問われれば、自分で踏ん張っても無理ならば遠慮せず話せる人に相談すると答えます。肩の力を少し抜いて、他の人の力を借りることも大事だと思えるようになったからです。逆に自分が相手の力になれるときは精一杯に力を出していけばよいと思います。話を聞くだけでも、話を聞いてもらうだけでも、お互いが抱えている悩みが少しでも軽減できればよいと思うし、仲間の存在は本当に大きいものだ、と森山さんのお話を聞いて再認識できました。



てらさわ
寺澤

りょういち

亮一さんを偲んで

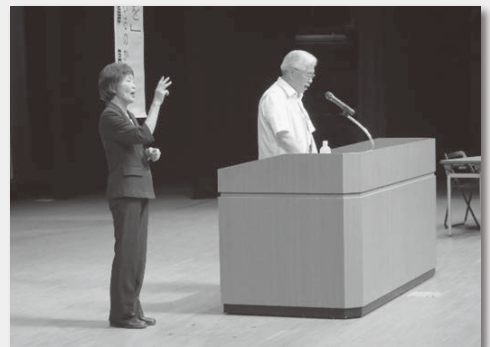


去る7月12日寺澤亮一さんが亡くなりました。寺澤さんは全国同和教育研究協議会（全同教）の事務局長や委員長を長らく務められ、全国の同和教育をリードして来られました。また、地対協や法務省の審議会委員としても国の人権施策の充実に力をそそいで来られました。

今から10年前、大分に来ていただき、アストくにさきで行われた「フォーラム人権のまちづくり」で『同和教育が拓く人権教育』と題して話をさせていただきました。個人的には、その前日の夜、一緒にお酒をかわしながらゆっくりとお話が出来たこと、その中で今、自身の取り組みを振り返りながら「懐かしい同和教育」シリーズを執筆していること、そして「それ（原稿）はあなたにあげるので、大分で自由に使っていいからね」と言ってもらったことをつい先日のことのように思い出します。

～今日は「まちづくり」ということで社会教育関係の方がいらっしやると思いますが、私は325戸の同和地区の自治会長を今年で7年間続けているんですが、どのようにして人権のまちづくりを私なりに勝負できるのかとやっているんですが、同和対策事業で公園を作ってもらったんだけど、まあ汚い。たばこの吸い殻などなど。自治会長になったときにせっせっせと土日は火ばさみとバケツを持って2カ所の公園を歩いていたら、みんな面白そうに見て「あまり気張らんほうがいいよ」とか言っていた。でも今は私に一切やらせません。きちんとした仕組みになって、ここの都市公園は抜群にきれいだという評価をいただきました。あたりまえのことですよ。よかったなあって思って、夏休みの終わりには、おとなと子どもの思い出作りの夏祭りがあります。踊りをしたり、テント村でバザーをしたり、出店をしたりしているんです。綿菓子10円で、上手に出来るまで10円で、子どもにさせて失敗したら新しいやつで、いよいよ出来ないときは手伝ってあげて、金魚すくいもあって、翌日に片付けていると金魚の袋が公園のフェンスに5つも6つも掛けてあるんです。お母さんが「持って帰るな」って言うんですね。飼うのがうるさいから。公園にこんなに残っているということはもっとたくさん金魚が帰りに橋の上から川にばあってされているのとかがうかなという疑いの目でみて、みんなが「もうやめよう、金魚すくい1万8千円かけて、こんなじゃもうやめよう」と。でも「やめるのは惜しいよなあ」ということで、子どもにリサーチして、一昨年金魚を飼っている子どもにどうしているのって聞いて、水を時々半分ずつ交換していること、塩をちょっと入れたら病気をしないというようなことを、A4の紙の表に「金魚のやさしい飼い方ー僕はこうして2年間生かしています」という見出しで書いて、裏には「かわかった金魚が死んだときどうしていますか」という見出しで、たとえ何日かでも喜びを与えてくれたり慰めを与えてくれたり、かわかった金魚が死んだときに、ポイではなくて、それなりのありがたさを添えてほしいなあなんてことを書いて、金魚すくいをしに来る親と子にその紙を渡しなが、3年目の夏祭り金魚すくいをしました。そんなチラシを配りながらしているところは、大分でもないと思います。それが人権啓発、それが「人権のまちづくり」なんです。だから楽しい。出会いがある。喜びがある。わくわくすることが出来る。

こんなことが学校教育でも社会教育でもまさに人権の時代を拓く、それを私たちががすることで役立つことが出来るんじゃないかなあと思いながら、残りの人生を頑張りたいなあと思っています。いつか人権教育・同和教育がうれしいなあと思わせてくれて、浄土へ行きたいなあと思っている毎日です。～



当時の講演の最後に寺澤さんが話されたことを紹介し、哀悼の意をしめします。

夜明け前の道を進む

～その2～

みなさんは「夜間中学」をご存じですか？ 夜間中学は、様々な理由により義務教育を修了できなかった方などを対象とした学校のことで、大分県にはありません。

全国にはすでに設置された都道府県もあり、解放出版社からも、8月15日に新刊として右の書籍の発刊が予定されています。

【「天王寺・文の里夜間中学の存続を」 解放出版社1,800円＋税】

2016年に成立・公布された「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律（教育機会確保法）」の中でも、次のように明言されています。



第四章 夜間その他特別な時間において授業を行う学校における就学の機会の提供等（就学の機会の提供等）

第十四条 地方公共団体は、学齢期を経過した者（その者の満六歳に達した日の翌日以後における最初の学年の初めから満十五歳に達した日の属する学年の終わりまでの期間を経過した者をいう。次条第二項第三号において同じ。）であって学校における就学の機会が提供されなかったもののうちにその機会の提供を希望する者が多く存在することを踏まえ、夜間その他特別な時間において授業を行う学校における就学の機会の提供その他の必要な措置を講ずるものとする。

大分県教育委員会（以下、県教委）では、下記の特設ページをつくって、県民の願いや様子の把握を進めています。みなさんの周りに、義務教育の学び直しを望むような方がいれば、一緒に特設ページを尋ね、アンケートに協力してみてもはいかがでしょうか。

大分県教育委員会特設ページ「夜間中学をご存知ですか？」
(<https://www.pref.oita.jp/site/kyoiku/night-middle-school.html>)

夜間中学をご存知ですか？

夜間中学は、様々な理由により義務教育を修了できなかった方などを対象とした学校のことで、大分県にはありません。

大分県教育委員会では、夜間中学で学びたい方がいらっしゃるかどうかを調べています。

- 夜間中学は、通常の中学校と同じ公立の学校です。
 - ・週5日間、授業があります（土日、祝日は除く）。
 - ・通常の中学校と同じ科目の授業（国語、数学、音楽、保健体育など）や、進学科目などの授業があります。
 - ・全ての課程を修了すれば、中学校卒業となります。
- 夜間中学に入学できる方。
 - ・満16歳以上で、中学校を卒業していない方。
 - ・中学校を卒業しているが、様々な事情により、中学校での教育をほとんど受けることができなかった方。
 - ・不登校などの事情により、夜間中学で学びたい中学生。
 - ・外国で義務教育を修了していない外国籍の方。

連絡先、お問い合わせ先
大分県教育委員会 義務教育課 夜間中学担当
電話 097-506-5519 FAX 097-506-1795
メール a31810@pref.oita.lg.jp
受付時間 9:00～17:00

夜間中학교를 알고계신가요?

夜間 중학교는 다양한 이유로 의무 교육을 수료하지 못한 분 등을 대상으로 하는 학교로 오이타현에는 아직 없습니다。

오이타현교육위원회는 야간 중학교에서 배우고 싶은 분야를 조사하고 있습니다。

- 야간 중학교는 주간 중학교와 같은 공립 학교입니다。
 - ・주5일간 수업을 합니다。(주말, 공휴일 제외)
 - ・주간 중학교와 동일한 교과 수업 (국어, 수학, 음악, 보건체육 등) 및 수학여행 등의 행사가 있습니다。
 - ・모든 과정을 수료하면 중학교 졸업으로 인정됩니다。
- 야간 중학교에 입학 가능한 분
 - ・만 16세 이상으로 중학교를 졸업하지 않은 분
 - ・중학교는 졸업했으나 여러가지 사정 때문에 중학교 교육을 거의 받지 못했던 분
 - ・통교거부 등으로 야간 중학교에서 배우고 싶은 학생
 - ・오락에서 의무교육을 수료하지 않은 외국 국적 거주자

면담처・문의처
大分県教育委員会 義務教育課 夜間中学担当
전화 097-506-5519 FAX 097-506-1795
메일주소 a31810@pref.oita.lg.jp
접수시간 9:00～17:00

야간 중학교에 관한 설문조사

Do You Know About Night Middle School?

Night middle school is aimed at those who could not complete their mandatory education for any number of reasons. Currently, there are no night middle schools in Oita Prefecture.

The Oita Prefecture Board of Education is currently trying to find out if there are people interested in night middle school in Oita.

- Night middle school is public school just like day middle school.
 - ・There are classes five days a week (excluding weekends and public holidays).
 - ・Subjects (Japanese, math, music, physical education) are the same as daytime middle school, and field trips and other similar events also take place.
 - ・You graduate middle school once you have completed all of the courses.
- People Eligible to Enter Night Middle School:
 - ・Those 16 and older who have not graduated middle school.
 - ・Those who have graduated from middle school, but were not able to receive most of their middle school education due to varying circumstances.
 - ・Middle school students who want to attend night school due to not being able to attend day school.
 - ・Foreigners who were unable to complete mandatory education in their home country.

Contact Information
The Mandatory Education Guidance Section in the Mandatory Education Division of the Oita Prefecture Board of Education
TEL 097-506-5519 FAX 097-506-1795
E-mail a31810@pref.oita.lg.jp
Reception hours 9:00 - 17:00

Night Middle School Survey

日本語のページだけでなく、英語・中国語・ハングルに対応したページや動画が公開されています。詳細については、大分県教育庁義務教育課学力向上支援班にお問い合わせください。

電話 097-506-5519 メール a31810@pref.oita.lg.jp 受付時間 (9:00～17:00)

それでは大分県内には学び直しの場はないのでしょうか？今回は「夜間中学」と趣旨は異なりますが、学びたいと願う方に向けて、学びの場を保障し続ける**大分市のナイトスクール**の取り組みを紹介します。

大分市教育委員会では、学齢期を過ぎて、もう一度中学校程度の学習内容を学びたい人や日本語を学びたい人の学びの場である「**おおいたナイトスクール**」を立ち上げて7年目となります。

2022年度は、火曜日に植田公民館で、英語（中1程度）、国語（中1程度）、水曜日にコンパルホールで、英語（中2程度）、国語（中2程度）、**国際科**^{※1}、木曜日に鶴崎公民館で、**ふるさと知ろう科**^{※2}、数学（中1程度）を、それぞれ50分間を1コマとして、6月から翌年2月までの9か月間、午後7時から開催しています。



今回は、6/29(水)の**国際科**の授業の見学をしました。担当者の話によると、受講生を日本語の習熟度に合わせて3つのグループに分け、各グループに1人の講師が授業を行っているとのこと。受講生は、仕事で大分に来ている方もいれば、結婚を機に大分に住むことになった方、学生、宣教師と様々で、受講生のみなさんが楽しく日本語を学び、ともに大分で過ごすなかまとして絆を深めていく姿が印象的でした。

あるグループのこの日は、中国出身の受講生が持ってきた、中国の料理と日本語で書かれたレシピをもとに学習しました。発表時、おもむろに取り出したタッパーの中にレシピ通りにつくってみた料理が入っており、他のグループのみなさんから「すごいね！」の大喝采でした。

国際科では、日本語だけでなく、ごみの分別などの日常生活についての講座も予定しているそうです。受講者が楽しみながら学べる場がここにありました。



※1 国際科・・・日本語を基礎から学ぶ外国の方向けの講座

※2 ふるさと知ろう科・・・大分市の歴史や産業等さまざまな内容について学習する講座

私たちのまわりには、「学びたい」と願う人がたくさんいるのかもしれませんが、しかしどこで学べば良いのか、だれに相談すれば良いのか分からないこともあるようです。今回紹介した「**おおいたナイトスクール**」のような学びの場が、みなさんのまちにも1つ2つと増えていくことで、学びたい願いや同じ思いを持つ方同士がつながり合えるのではないのでしょうか。みなさんのまちの学びの場を尋ねてみませんか。



県人教では、県教委とともに県内の高校中途退学や転学についての分析を続けており、2020年度の中途転退学者は546人いました。この人数は、全体の1.82%です。多いか少ないかは判断が分かりますが、みなさんの住んでいるまちの小学校の在籍人数と比べてみれば、どのくらいの高校生が学校を去っているかが分かると思います。

高校を卒業しなかった子どもたちに対し、「高校を卒業した人と同等以上の学力があるかどうか」を文部科学省が認定する「**高等学校卒業程度認定試験（高卒認定）**」という試験があるのはご存じでしょうか。

この試験の合格に向けて、県教委の事業も展開されています。「あなたの『学びなおし』応援します!」をキャッチフレーズに、勉強の仕方の相談や認定試験に対する質問に対応すべく、NPO法人地域の宝育成支援センターとともに学習支援事業を行っています。この試験に興味がある方がいれば是非ご紹介ください。

学びのステップアップアドバイザー 097-543-1711
大分県教育庁社会教育課 097-506-5527

おおいた学びのステップアップ
支援事業HP➡





こどものまなざし

このコーナーでは、今年度の人権作文集「ひかり」に掲載された作品を紹介していきます。子どもたちが日常生活の中で考えたこと、感じたことなどにふれ、子どもたちの姿から学んでいきたいと思います。

ニュースじんけん140号（2021年7月5日発行）では、『共に生きる社会をめざして』コーナーで、右のような記事を紹介しました。



子どもたちも、自分の人生に重ねて、彼女のオリンピックを受け止めていたようです。

「社会的な障壁」

最近、性で悩む子どもたちが抱える社会的な障壁について考えさせられる出来事が2つありました。

1つめは、ニュースでニュージーランド出身の重量挙げローレル・ハバード選手が、トランスジェンダー女性初の五輪出場という話題が取り上げられたことです。私の想像ですが、きっとローレル・ハバード選手は、幾多の分厚い社会的な障壁に立ち向かい、オリンピックという舞台をめざしてきたのではないかと思います。彼女の自分らしく生き抜く姿に、世界中の子どもたちが勇気づけられたのではないのでしょうか。

2つめは、今国会で「LGBT法案」が見送られたことです。まさに、社会的な障壁が存在することを象徴する出来事でした。おとなが勝手な偏見で社会的な障壁を作り出すことは、子どもたちへの負の財産でしかないように感じました。

これからの日本が、ローレル・ハバード選手から夢や希望、勇気もらった子どもたちにとって、生きやすい社会になるよう、私に何ができるかな…。とりあえず、何か発信できるように、この原稿を書いています。

様々なカタチのオリンピック選手

今年の七月二十三日から開催された東京2020オリンピック期間では、連日、関連したニュースが放送されていました。皆さんの印象に残っているニュースは何でしょうか。選手入場でゲーム音楽が使用されたこと、日本が過去最多のメダルを獲ったこと、もしくはそれぞれの種目で記憶に残るプレイがあったかもしれません。私にはそのたくさんのニュースの中で一際目を引かれたものがあります。そのニュースとは、オリンピック史上初めて、男性から女性へ性別変更を公表したトランスジェンダーの重量挙げの選手が女子選手として出場する。というものです。つまり身体的には男性として生まれ、しかし心や思考は女性だという人が性転換手術を受け、女性選手としてオリンピックに出たのです。その選手は試合に出ると批判され、他国選手団から出場資格の取り消しを求められたそうです。女性の権利を主張するニュージーランドの団体は、「男性」が女性の機会を奪っていると批判し、出場に反対しました。他にも、人生を変えるチャンスを失ってしまうアスリートもいるなどその選手の東京オリンピック出場に対する様々な反対意見がありました。私も最初にこれを聞いたとき

「たしかに、この選手が出場することで出場できなくなる女性選手もいるのか……それに男性の身体をもつ人が女性選手と競うというのはどうなんだろう…。」と思いました。ですので、出場反対派だったのかもしれませんが。皆さんは、その選手の出場に対してどう思いますか。私のように反対する人はいるのでしょうか。

ですが、私の意見が覆る出来事がありました。それは私がこの作文を書くにあたり、その選手について調べていたときのことです。私はとある記事をみつけました。記事には記者の「なぜ重量挙げという競技を始めようと思ったのか」という問いに対してその選手がラジオで語ったことが書かれていました。

「男っぽいことに挑戦すれば私も男になれるのではないかと思った。だが、残念ながらそうはならなかった。思惑通りにいけば、人生で最も暗かったあの時期が多少なりとも過ぎやすくなるかもしれないと思ったのに。」というものです。私はこれを読んでほっとしました。その選手がオリンピックに出るまでにどれくらいの壁があったのか、ということを感じ取ったからです。初めの「男っぽいことに挑戦すれば私も男になれるのではないか」これからはその選手が男性としての生きづらさを感じながらも、必死に心を身体に合わせようとしてもがいてきたことがわかります。きっと、親や周りの人たちは、男として生まれたその選手が当然男として生きることを期待していたと思います。そしてそのごく当然の期待に選手が応えようとし、男っぽいことに挑戦していったのだと考えます。ですが、結局三十代で性転換手術を受けることになるのです。

私の中にも自分に対して、「〇〇なんだから当然こうあるべきだ、こうあるはずだ」という固定観念がありますし、皆さんにもあると思います。〇〇の中には、例えば、女子という言葉や、最上級生、最近だと受験生、という言葉が入ってきます。それらが支えになることもあります。時にプレッシャーになることも私はありました。そんな時に私ならば友達や先生に心を開いて素直に話すことができます。ですが、その選手の場合はどうでしょうか。自分の性に対する悩みを乗り越え、自分に素直になって「自分らしく」女性として出場すると、その「素直さ」が多くの人に批判されるのです。それはどれだけ辛いことだったのでしょうか。

そして、この選手は一度引退しています。その時に「私のような人間のために作られたわけではないに違いない世界に自分を合わせなければならぬプレッシャーが大きすぎて耐えられなくなった。」と語っています。これを聞いてもまだ反対をする人がいるのでしょうか。その人のことを決めつけることで、その人を生きづらくさせてしまっていることに気づいていますか。たしかに、私が始めに考えたようにその選手が出場することで、女性選手が出場できなくなったり、メダルがとれなくなったりするという考えもあります。また、女性選手なのに男性の身体を持っているのはどうか、という意見もあるでしょう。しかし、その選手は女性選手として出場するために、先ほど述べたような性転換手術を受けたり、男性ホルモンの血中濃度を下げたりといった努力をし、国際オリンピック委員会が定めた条件をクリアしています。ですので彼女は、女性選手です。女性の心をもって生まれた人が数々の壁やハードルを乗り越えて、身体も女性になったのです。私は今なら何の問題もないと自信をもって言えます。

これから、私たちは偏見や差別によって生きづらさを感じている人が過ごしやすい環境、そして周りに安心して公言できるような環境をつくっていかねばなりません。そのために、トランスジェンダーの人々への偏見を少しずつでも減らしていくことが必要です。私も含めた皆さんの中にある小さな偏見をなくしていきましょう。

人権作文集ひかり2022【第34集】(5月発刊予定)

豊後大野市 中学校 三年 西山 未来さんの作品より

オリンピズムの根本原則には、「スポーツを行うことは人権の一つである。」と書かれています。ハーバード選手は今の「世界」に生きづらさを感じ、スポーツをすることを一度は断念してしまいました。しかし、さまざまな困難を乗り越え、女性としてオリンピックに出場し、作者の西山さんをはじめ、多くの人々の考え方に影響を与えました。

西山さんはハーバード選手の生きづらさを、自分のことに引き寄せて考えています。西山さん自身、この「世界」をつくる一人であり、ハーバード選手のことは無関係ではないと考えているからでしょう。

誰もが生きづらさを感じずにすむ「世界」をつくらなければならない、今の「世界」をかえていかなければならない、子どもたちからの発信です。

大分県内18市町村では、臼杵市に続き竹田市と豊後大野市にも「パートナーシップ制度」が導入されました。新しい「家族の形」が認められています。つまり、通学してくる子どもたちに「家族の形」が様々あっても当然なのです。「家族の形」を決めつけることで、子どもたちの心を押しつぶしてしまわないよう、事前に校内研修等で教職員の人権意識を豊かにしていきましょう。

INFORMATION

第16回ヒューライツ作品展の募集について

募集内容が変わりました。
絵画や造形物などもOKです。

2007年から、スタートしたヒューライツ・ライフ写真コンテストですが、15回を迎える2021年度募集から、写真だけでなく、多様な表現を発表できる場に、変更しました。絵画や、造形物(粘土など)の作品も募集しています。今年度も多くの会員のみなさんをはじめ、多くの方の応募をお待ちしています。

2022度 テーマ 「リ・スタート」

少しずつ動きはじめた社会。みなさんお一人おひとりも、当たり前であったことを見直したり、断ち切れになっていたものをつないだりと、自分の目標に向かって改めて動き始めているのではないのでしょうか。今回は、その思いを表現した作品を是非ご紹介ください。

応募要領

- どの作品もしサイズ程度の写真に撮影する。 カラー、白黒いずれも可。
- なまえ(ふりがな)・郵便番号・住所・電話番号・タイトル・コメント(30字程度)を添付。
 - ・乳幼児期・小・中・高校生については、所属(園名・学校名など)、学年を付け加えて保護者を通じて応募してください。記載漏れのないようにお願いします。
- 応募作品は、返却しません。
- 応募作品は、未発表のものとしします。
- 応募作品の著作権は応募者に帰属し、使用权は主催者に帰属します。応募作品は大分県人教関連の出版物や展示物など、多方面において無償で永久的に使用できるものとします。
- 応募作品は、必ず被写体や制作者の了承を得たものとします。
- 万一、上記の応募要領に反し、当団体と被写体等との間で、問題が発生した場合は、応募者の責任において解決するものとします。



応募先：870-0951 大分市大字下郡496-38 大分県教育会館2階
(公社)大分県人権・部落差別解消教育研究協議会
「第16回 ヒューライツ作品展」申し込み係

応募方法：郵送または持参

しめきり：2022年11月30日(水)

賞品：入賞者には図書カードを進呈します。多種多様な作品になるので、今までのような大賞などはつくりません。発送を持ってお知らせに代えます。